

令和3年度使用西多摩地区町村立中学校教科用図書 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立中学校教科用図書採択協議会

	外国語（開隆堂出版）	特別の教科 道徳（日本文教出版）
内 容	①第1学年では、日本の伝統文化について触れ、第2学年では、異文化・国際理解について深め、第3学年では、自然科学・環境問題など社会的な問題をテーマとし、発達段階に配慮している。 ②新出文法・表現は、どのような場面で使われるのかを視覚的に理解できるようになっている。 ③アウトプット活動（Retell, Interact）に特化したページがあり、「話す」活動が重視され、即興力を高める工夫がなされている。	①写真や挿絵を効果的に使用し、興味・関心を引く教材となっている。 ②「いじめ」について、全学年とも、『いじめ』と向き合う」をテーマで取り上げ、教材・コラムを組み合わせたユニットを配置している。 ③「生命尊重」に関しては、全学年で「いのちの大切さ」というテーマで取り上げている。 ④「情報モラル」に関しては、全学年で取り上げ、コラムがある。 ⑤全学年で「安全・防災」をテーマにした教材を取り上げている。 ⑥「オリンピック・パラリンピック」については、全学年で取り上げている。 ⑦全学年で、スポーツ選手、作家など業績を残している人物を35人ほど取り上げ、それぞれの生き方を考えさせている。西多摩郡を扱った教材はない。 ⑧別冊ノートが付いており、ワークシートや自己評価シートとして活用できる。また、「道徳の学習で学んだことを振り返ってみよう」のコーナーがあり、学期末に振り返りができる。
構成・分量	①各課ごとの「Activity」、数課ごとの「Project」がある。 目的や場面に応じた言語活動を「Power-Up」として配置されている。（全15場面） 第2学年・第3学年は、読み物ページが数課ごとに配置されている。（全7話） ②学習内容の構成 ・第1学年 単元数：10 最初はbe動詞から始まっている。（be動詞・一般動詞・複数形・疑問詞・can・that is・代名詞・三単現・there is・現在進行形・一般動詞過去形・be動詞過去形・過去進行形） ・第2学年 単元数：8（be going to、will・接続詞（if, when, that）・must, have to・不定詞・動名詞・比較級・最上級・同等比較・疑問詞＋不定詞・SVC（一般動詞）・SV00・受動態・現在完了・現在完了進行形） ・第3学年 単元数：7（SV0＋不定詞・仮主語のit・SV＋that節・SVC＋that節・間接疑問・SV0＋that節・SVOC・SV0＋不定詞・分詞による後置修飾・関係代名詞（主格）・関係代名詞（目的格）・仮定法） ③第1学年で過去進行形まで、第2学年で受動態と現在完了まで、第3学年では各種構文を学習するようになっている。	①目次の他に、内容項目の4つの視点が分かる教材配列と、他の教科等との関連を一覧できる表がある。 ②冒頭に「道徳科で学ぶこと」、「道徳科での学び方」のページを設定している。 ③別冊ノートの巻末に「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」のページを設定している。 ④内容項目別の分量 ・「主として自分自身に関すること」は、全学年6項目である。 ・「主として人との関わりに関すること」は、第1・2学年7項目、第3学年6項目である。 ・「主として集団や社会との関わりに関すること」は、第1学年13項目、第2学年15項目、第3学年16項目である。 ・「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」は、全学年7項目である。 ⑤ページ数は、全学年191ページである。 全学年40ページの別冊ノートが付いている。サイズはB5判である。 ⑥教材の数は全学年35本である。
表記・表現	①「目標」については、各パートに、「キーセンテンス」については、会話文の中で、「本文」については、1ページに1つの内容で収まるように、「新出単語」については、本文のページに発音記号、アクセントがそれぞれ表記されている。 ②内容理解を補助するイラストや写真が使われている。また、絵カードが付録で付いている。 ③発達段階に応じた文量と表現になっている。	①文字の大きさは、10.5pである。 ②各ページの下に難しい語句の意味の説明や行数表記がある。また、読みにくい漢字には振り仮名が振ってある。 ③目次ページ・各資料タイトルページは、内容項目の視点ごとに色分けされている。 ④イメージ・資料写真数 第1学年100(12) 第2学年116(12) 第3学年110(15) ⑤イメージイラスト数 第1学年154 漫画3(24) 第2学年121 漫画3(24) 第3学年119(24) ⑥その他の資料（表・グラフ・図・地図等）数 第1学年28(1) 第2学年33(2) 第3学年29(2) ⑦各資料のタイトルに、内容項目のマークと作者写真、登場人物のイラストがある。 ※（ ）内は別冊ノートの数を表している。
使用上の便宜	①第1学年から学ぶことを重視し、文字学習への配慮、帯活動の設定など、小中接続の工夫がなされている。（全15ページ） ②アルファベットの書き方や辞書の引き方、音の変化、フォニックスを意識するようになっている。学年進捗とともに新たな目標を設定し、何を学んでいるのか、自学自習を意識できるようになっている。 また、QRコードがある。 ③スモールステップを踏んだ3つの活動、やりとりの中で、理由までを含めて意見を述べるなど、自分がよいと思う意見を選ぶよう、即興力を高めるための工夫がされている。 ④AB判サイズを使用している。	①1項目1時間、年間35時間の計画表がある。 ②巻末に切り取り式の学習ツールが付いていない。 ③各教材に生徒の考えを書き留め、振り返ることができる記入欄と、別冊ノートに、話し合い活動の内容を記録する欄がある。 ④教材の内容項目の理解を深める補助資料がある。（第1学年15、第2学年16、第3学年15） ⑤役割演技など、体験的な学習を促す設問が全学年に設定されており、生徒の主体的な学習が促されるようにしている。